

6-8

「笑い」=生への夢・希望

リウマチを抱える利用者の事例を通して

心の余裕
笑顔

特別養護老人ホームさつき荘

介護職 藤田 克裕
東京都世田谷区等々力5-19-10

介護副主任 山崎由佳 介護職 町田友紀
介護職 今村茉莉子 リハビリ職 岩下武史

TEL 03-3703-0581
FAX 03-3703-0583

E-mail satsuki@rougo-happy.or.jp
URL <http://rougo-happy.or.jp>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人老後を幸せにする会が運営する特別養護老人ホームさつき荘は、昨年創立30周年を迎えました。定員は50名です。個別サービスに特に力を入れていて、東京ドームヘナイターを観に行ったり、温泉に行ったりする方が多いです。

〈取り組んだ課題〉

- ◎利用者のS氏：在宅での生活が困難となり、さつき荘へ入所。入所後半年ほど経過すると、被害妄想や周りの人間に対する不信感が顕著に見られるようになってくる。
- ◎リウマチという病気への理解。
- ◎生への意欲を取り戻すために。
- ◎職員の利用者への思いを語る（インタビュー）。

〈具体的な取り組み〉

- ◎リウマチについての学習。学習を通して、リウマチの症状に「笑い」が効果があることを知る。
- ◎「笑い」の医学的効果。
- ◎S氏の笑顔を取り戻すための取り組み。
- ①日々の関わりの大切さを再認識。
- ②信頼関係の構築。
- ③行動範囲の拡大（視野を広げる）。
- ④本人のニーズを引き出す。
- ⑤ニーズの実現。
- ⑥クラブ活動への参加。地域への外出。本人から希望のあった外出。

〈活動の成果と評価〉

- ◎リウマチの痛みが軽減。
- ◎被害妄想・不信感の消失。
→職員への信頼。
- ◎日々の笑顔。大きな笑い声。
- ◎新たな夢・希望が生まれる。

↓

生への意欲。

〈今後の課題〉

- ◎S氏の更なる夢の実現へ
- ◎施設のビジョン
「みんなが家族の一員になれるさつき荘」を掲げ、利用者の方に「笑い」=生への意欲を持って、生活していただけるように、さつき荘全体で取り組んでいく。